

講義コード	11C0227800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	福井 英次郎	開講期	通年
科目名	政治学					福井 英次郎		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	人間は自然の中で単独で生存しているのではなく、集団で社会を形成して生活をしています。社会を形成する場合には、いつも政治というものがある存在することになります。この講義では、このような政治というものについて、学術的に議論していただくことを目的としています。なお受講生も現在の社会に生きている当事者です。そのため受講生自身の問題として、一緒に考えて頂ければと思います。この講義では特に国内政治に焦点をあてます。								
到達目標	この講義の目標は、まず受講生が政治学の基礎的な考え方を理解し、それを説明できるようになることです。それを踏まえて、現在の諸問題について関心を持ち、その問題について政治学的に議論できるようになることです。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業中で取り扱ったトピックについて、新聞やテレビなどを通じて積極的に最新の情報を獲得するとともに、関連する書籍や論文の検討を通して各自で理解を深めるように努めてください。これらのために授業外に計120時間以上の学修を行うことが期待されます。								
授業計画	<p>【第1回】 イントロダクション</p> <p>【第2回】 政治とは何か</p> <p>【第3回】 政治現象①</p> <p>【第4回】 政治現象②</p> <p>【第5回】 市場と国家①</p> <p>【第6回】 市場と国家②</p> <p>【第7回】 企業と政治①</p> <p>【第8回】 企業と政治②</p> <p>【第9回】 選挙と政治①</p> <p>【第10回】 選挙と政治②</p> <p>【第11回】 中央と地方①</p> <p>【第12回】 中央と地方②</p> <p>【第13回】 マスメディアと政治①</p> <p>【第14回】 マスメディアと政治②</p> <p>【第15回】 前期のまとめ</p> <p>【第16回】 国会①</p> <p>【第17回】 国会②</p> <p>【第18回】 内閣と首相①</p> <p>【第19回】 内閣と首相②</p> <p>【第20回】 官僚①</p> <p>【第21回】 官僚②</p> <p>【第22回】 第二次大戦後の世界と日本①</p> <p>【第23回】 第二次大戦後の世界と日本②</p> <p>【第24回】 外交交渉①</p> <p>【第25回】 外交交渉②</p> <p>【第26回】 環境①</p> <p>【第27回】 環境②</p> <p>【第28回】 今後の課題①</p> <p>【第29回】 今後の課題②</p> <p>【第30回】 まとめ</p>								
成績評価の方法	学年末試験60%、授業内の貢献（リアクションペーパー等）40%で判断します。								
フィードバックの内容	授業に対するコメントや質問はリアクションペーパーで受け付け、翌週授業内にフィードバックを実施します。								
教科書									
指定図書	『はじめて出会う政治学——構造改革の向こうに（第3版）』北山俊哉・久米郁男・真淵勝（有斐閣）2009、『政治学の第一歩』砂原庸介・稗田健志・多湖淳（有斐閣）2015								
参考書	『現代政治学（第4版）』加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦（有斐閣）2012、『政治学（補訂版）』久米郁男・川出良枝・古城佳子・田中愛治・真淵勝（有斐閣）2011、『国際政治学』中西寛・石田淳・田所昌幸（有斐閣）2013、『EUの規範政治——グローバルヨーロッパの理想と現実』臼井陽一郎編（ナカニシヤ出版）2015								
教員からのお知らせ	現在のトピックを積極的に取り上げ、政治学的に分析する予定です。受講生が現代の諸問題を考える機会になればと考えています。なお授業予定は受講生の関心や現実世界の動きにより若干変更することがあります。毎回ではありませんが、この授業では、学生参加型の形式を取ることがあります。講義を聞くだけでなく、学生間での多様な作業を通して、政治学を学んでもらいます。難しいことはしませんので、安心して履修してください。履修する学生には積極的に授業に参加する姿勢を望みます。								
オフィスアワー	授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他	最初の授業で、授業の進め方・成績評価・授業参加における注意点などを詳細に説明する予定です。履修を考えている方は必ず出席してください。								